

令和7年度

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所

ご利用に関する調査
報告書



はじめに

この調査は、(地独)大阪産業技術研究所(以下、大阪技術研)を日ごろからご利用いただいている皆様に、ご利用の満足度や効果、ご意見・ご要望をお伺いすることにより、当研究所運営の改善策を検討し、より良いサービスを提供するために行ったものです。

(1) 調査の概要

- ◆ 調査期間： 令和8年1月27日から令和8年2月16日
- ◆ 調査対象： 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの期間に大阪技術研を1回以上ご利用された方のうち、利用者登録において電子メールアドレスの登録がある方
- ◆ 調査方法： 大阪技術研より調査対象者の方に電子メールにて調査を依頼。アンケート回答用のWebページにアクセスして頂き、回答内容を入力して頂く。
回答内容を利用回数(調査対象期間中1回、2回、3回、4回以上)別に集計
- ◆ 対象者・回答数： 対象者数：3,869名(※) 回答数：1,524名 (回答率 39.4%)
(利用回数毎の回答者の内訳1回：537名、2回346名、3回176名、4回以上465名)
(※)電子メール不着数127名を除く

(2) 調査内容

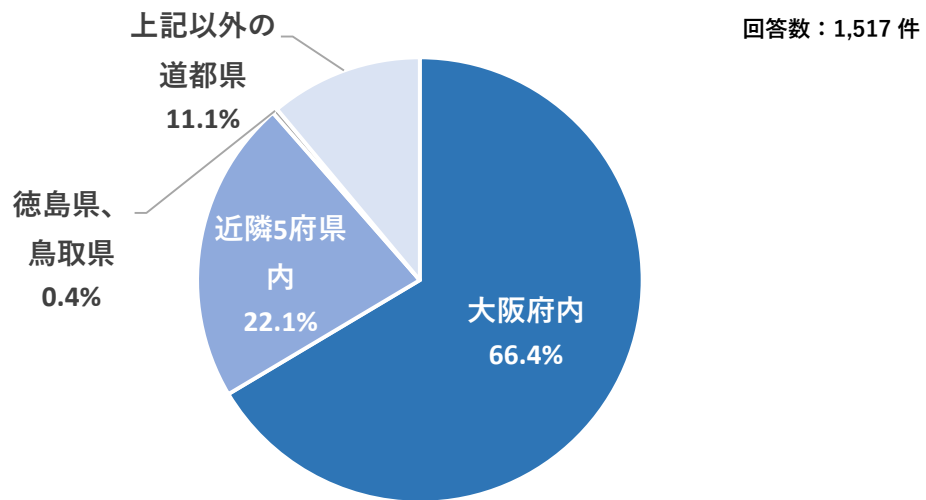
- ① 回答者の所属する事業所の概要(所在地域、資本金、従業員数)
- ② 利用目的と満足度及び不満点
- ③ 利用効果
- ④ 利用者サービス向上
- ⑤ 「2025年大阪・関西万博」の出展について
- ⑥ 大阪技術研へのご意見・ご要望

調査結果

1. 回答者が所属している企業の概要

1-1 所在地域

回答者が所属している企業（事業所）の所在地域は、大阪府内 1,008 名（66.4%）、近隣 5 府県内（滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県）が 335 名（22.1%）、近畿 6 府県以外の関西広域連合内の県（徳島県、鳥取県）が 6 名（0.4%）上記以外の道都県が 168 名（11.1%）でした。（図 1）



（近隣 5 府県：滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県）

図 1 回答者が所属している企業（事業所）の所在地域

1-2 企業規模（資本金、従業員数）

回答者の所属する企業の企業規模は、「資本金 3 億円以下または従業員数 300 人以下」の企業（製造業の場合は中小企業に分類）が 1,030 社（70.0%）、「資本金 3 億円超かつ従業員数 301 人以上」の企業（製造業の場合は大企業に分類）が 441 社（30.0%）でした。（図 2）

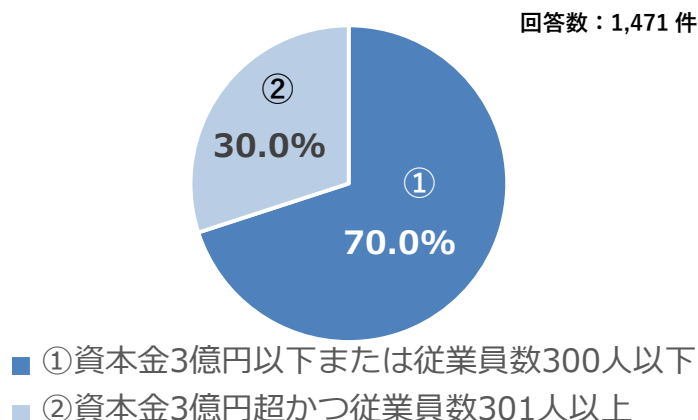


図 2 企業規模

また、資本金と従業員数の内訳は、図 3 に示すとおり、「資本金 3 億円超かつ従業員数 2001 人以上」の企業が 261 社（17.7%）と最も多く、次いで「資本金 3 億円超かつ従業員数 301～2000 人」が 180 社（12.2%）、「資本金 5,000 万円未満かつ従業員数 21～50 人」が 135 社（9.2%）の順でした。

（図中の数字は回答者数） 回答数：1,471 件

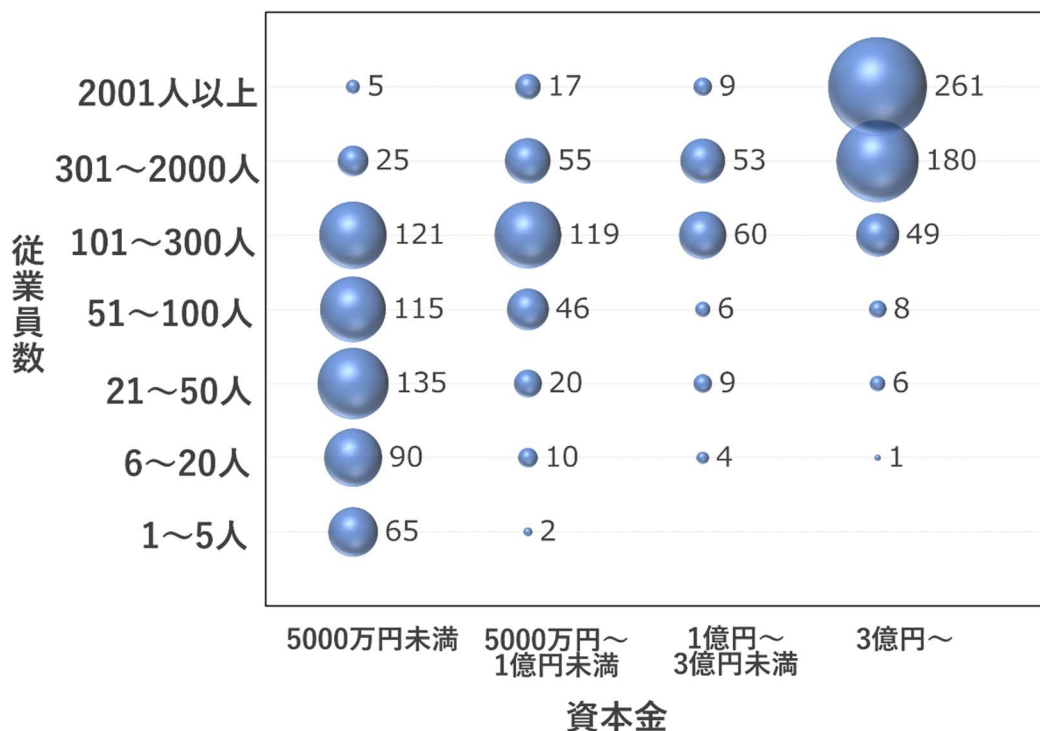


図 3 従業員数と資本金

2. 大阪産業技術研究所を知ったきっかけ

大阪技術研をどのようなきっかけで知ったかについてお伺いしたところ、1,524名から回答がありました。(図4)

その内訳は、「社内での案内・紹介」が829件、「インターネット検索、SNS等」が346件と、これら上位2つの理由で全体の77.1%を占めました。

回答数：1,524件

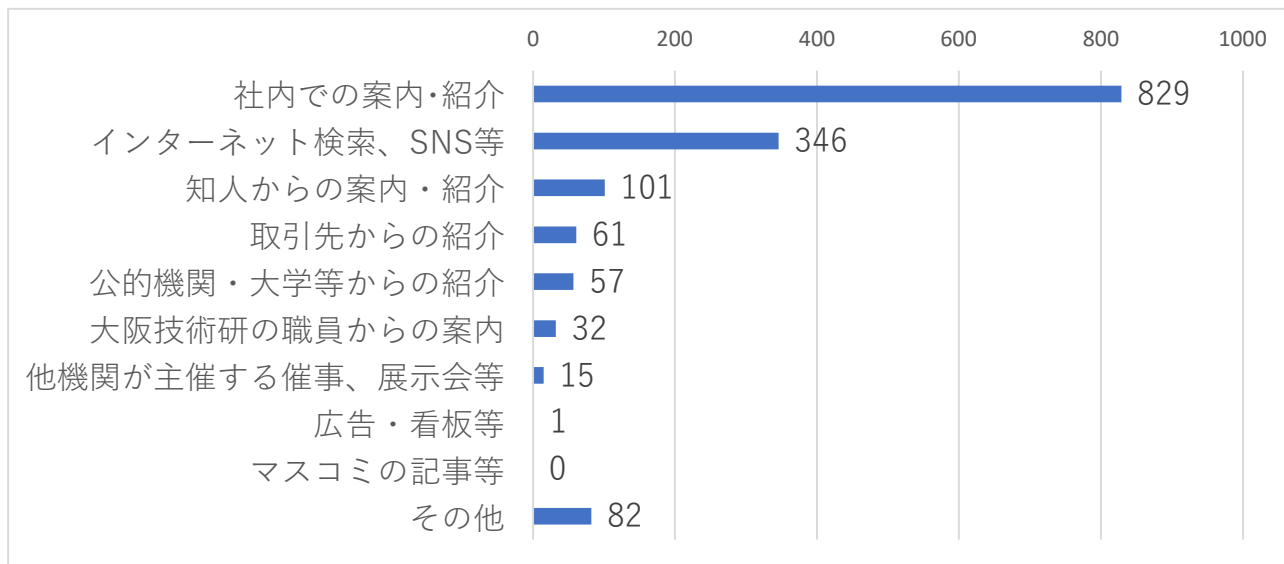


図4 大阪技術研を知ったきっかけ

大阪技術研を知ったきっかけの具体的な内容(抜粋・要約)は、表1のとおりです。

表1 大阪技術研を知ったきっかけの具体的な内容(抜粋・要約)

- ・評価試験方法を調査検討しているときにHPを見て。
- ・Google検索にて大阪近辺で調べてヒットしました
- ・照明学会学会誌記事
- ・大阪産業局主催の金属積層造形に関するセミナー、電気加工学会論文
- ・上司から過去利用したことがある外部試験機関として紹介を受けました。
- ・東大阪市立産業技術支援センターの担当者からのご紹介を頂きました。
- ・金融機関の紹介
- ・大阪府よろず支援拠点での紹介から
- ・関西広域連合様からのご紹介
- ・大学時代に研究室で使用していた。
- ・20年以上前から利用させてもらっています。

3. 利用目的と満足度及び満足点・不満点

3-1 大阪技術研の利用目的

大阪技術研の利用目的についてお伺いしたところ、1,524名から1,980件の回答（複数選択）がありました。（図5）

その内訳は、「製品の開発、改良、評価」が1,162件、「製品のクレーム対策（不良品、製造トラブルの原因究明等）」が424件と、上位2つの理由が全体の80.1%を占めました。

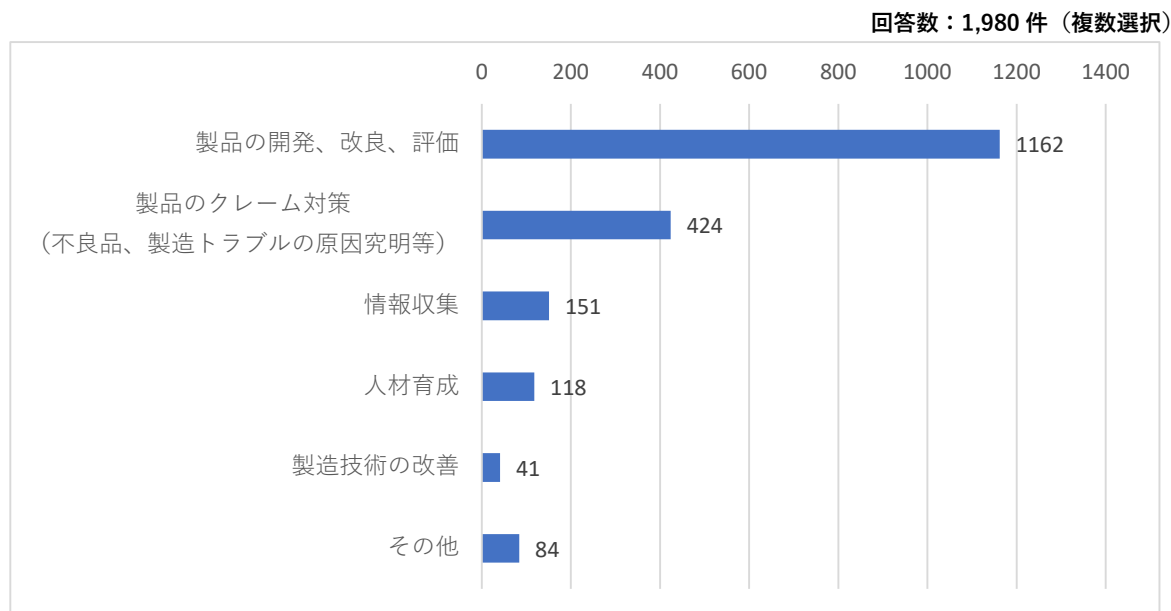


図5 大阪技術研の利用目的

大阪技術研の利用目的の具体的な内容（抜粋・要約）は、表2のとおりです。

表2 大阪技術研の利用目的の具体的な内容（抜粋・要約）

- ・ 振動試験機が得意先様の設備になかった。
- ・ 自社では購入が難しい高額機器によるデータ収集
- ・ 3m法の暗室が大阪か三重にしかなく、直近で試験できるのが大阪しかなかった
- ・ 製品の熱処理による焼割れの原因調査
- ・ 光学フィルムの光学特性解析
- ・ ステンレス材料の破面観察、測色計の機能説明、スパッタリングの試作と評価
- ・ 金属表面の変色状態の観察および成分分析
- ・ 想定外のクラック発生原因の調査
- ・ 錆の原因特定
- ・ 製品破損の原因調査、製品鋳物巣の調査、製品引張強度のデータ収集
- ・ 雷サージ試験を実施するために、校正の取れている設備が必要だった
- ・ レディメイド研修の受講、およびそれに関する分析機器の利用
- ・ 客先より理不尽なクレームを受け第三者機関での調査結果が必要となった

3-2 大阪技術研のご利用における満足度

大阪技術研のご利用時における満足度の割合は、「満足」が927件(60.8%)、「おおむね満足」が555件(36.4%)、「やや不満」が38件(2.5%)、「不満」が4件(0.3%)でした。「満足」と「おおむね満足」の割合を合わせると97.2%となりました。(図6)

回答数：1,524件

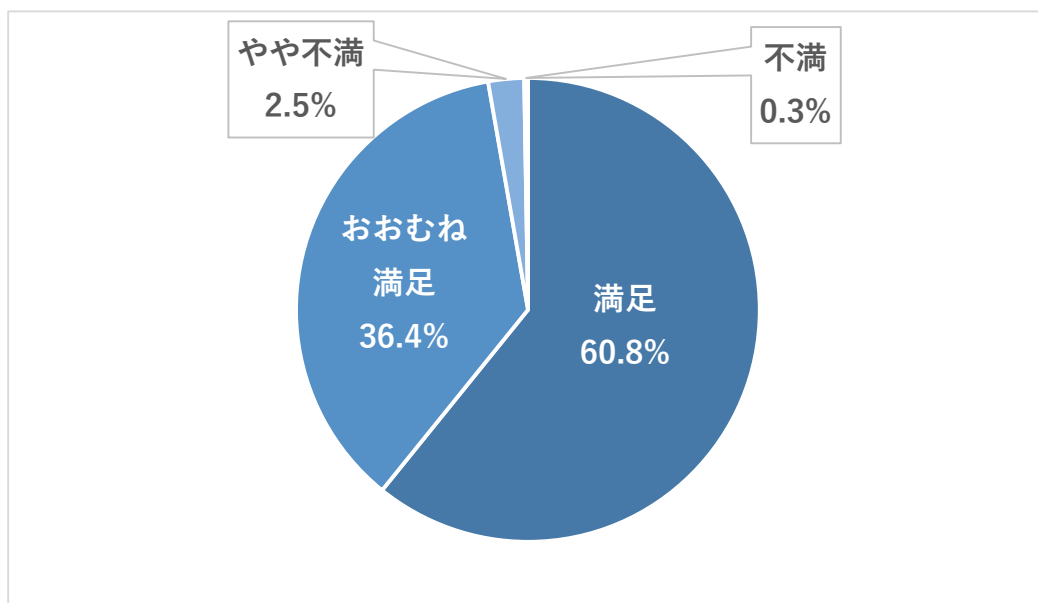


図6 ご利用における満足度

3-3 「満足」または「おおむね満足」を選択された理由

「満足」または「おおむね満足」と回答された（97.2%）の方にその理由をお伺いしたところ、1,460名の方から 3,926 件の回答（複数選択）がありました。（図 7）

その内訳は、「利用したい設備機器があった」が 1,102 件、「職員の説明が適切だった」が 1,093 件、「職員の接客態度が良かった」が 713 件と、上位 3 つの理由が全体の 74.1% を占めました。

回答数：3,926 件（複数選択）

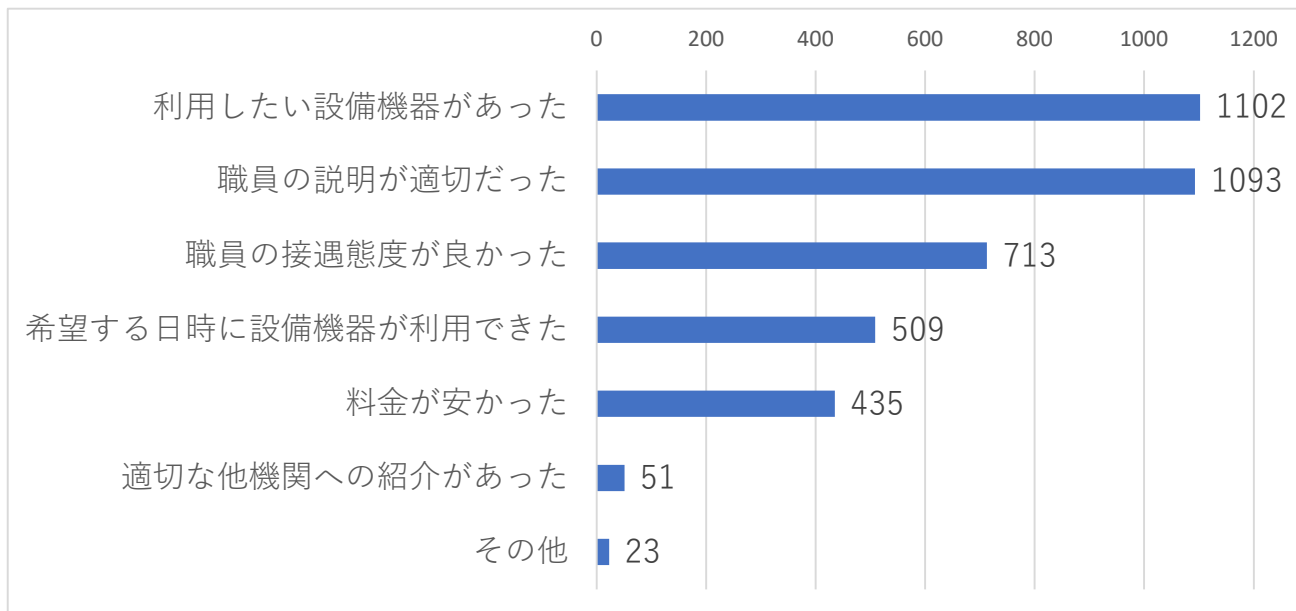


図 7 「満足」または「おおむね満足」と回答した理由

その他を選択された方で、具体的な理由で代表的なものや具体的な利用内容（抜粋・要約）は、表 3 のとおりです。

表 3 「満足」または「おおむね満足」を選択した具体的理由（抜粋・要約）

・薬品を使って綺麗に断面を見ることができた
・測定時に担当の方が丁寧に説明・アドバイスをしてもらえた
・リーズナブルな価格で、試験を受託いただきました。
・共同取組で複数の特許を共同出願できた
・技術習得ができた
・相談のみでしたが、問題解決の一助となりました。
・急なお願いにも柔軟に対応いただき感謝しております。
・測定実施の期間や結果に納得が出来た

3-4 「やや不満」または「不満」を選択された理由

「やや不満」または「不満」と回答された方にその理由をお伺いしたところ、68名の方から86件の回答（複数選択）がありました。（図8）

その内訳は、「利用したい設備機器がなかった」が17件、「料金が高かった」が17件、「希望する日時に設備機器が利用できなかった」が12件と、上位3つの理由が全体の53.5%を占めました。

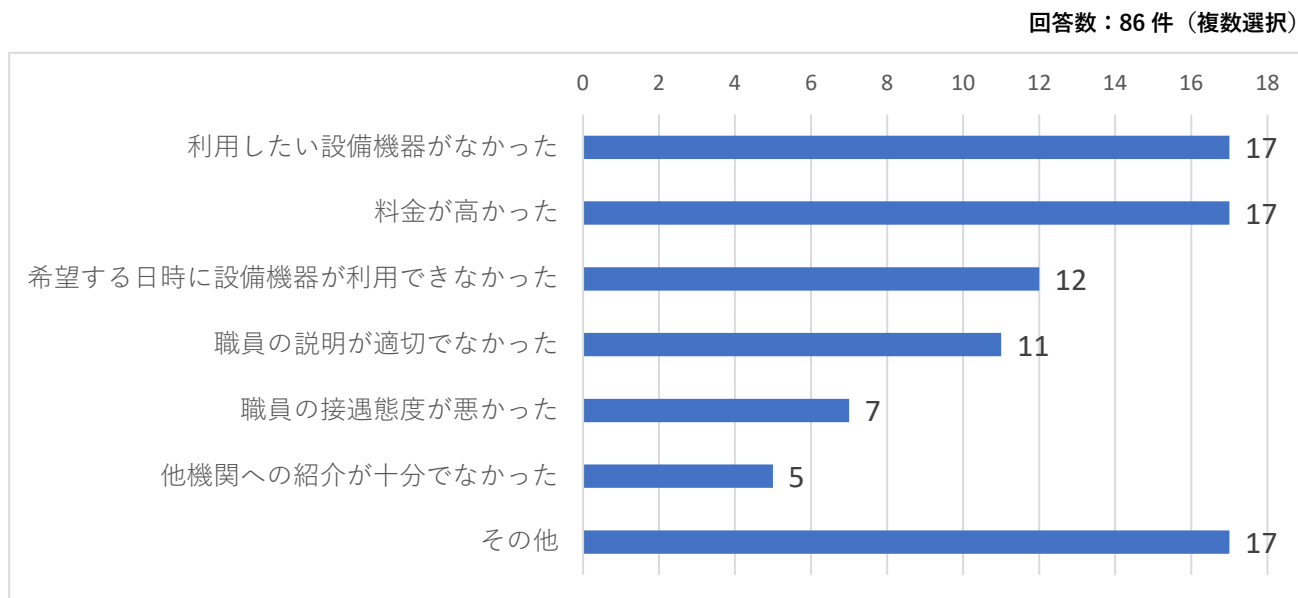


図8 「やや不満」または「不満」と回答した理由

その他を選択された方で、理由の代表的なものや具体的な利用内容（抜粋・要約）は、表4のとおりです。

表4 「やや不満」または「不満」を選択した具体的理由（抜粋・要約）

- ・破壊検査を行い、強度を調査したかったが、製品の規格がないと強度試験出来なかった。
- ・同等の機器で近畿の他の公設試の方が安いときは、遠くても出向いている。
- ・電話および対面での対応があり得ない内容であった。
- ・機器の使い方の説明が最小限である。知らないことが多いので、必要十分に説明してほしい。
- ・試験機使用の予約方法が電話のみなので、メールやウェブでの予約フォーム等があるとありがたい。
- ・測定条件設定について、職員の知識の開示がなかったため、測定条件が不足して、再試験を必要であった。
- ・我々がイメージしている共同開発と少し違った為

4. 利用効果

4-1 コスト削減への寄与

大阪技術研のご利用によりコスト削減に役立った項目についてお伺いしたところ、1,418名より1,610件の回答がありました。そのうち、コスト削減に役立った項目を選択された回答は1,235件で、その内訳は、図9のとおりでした。「設備投資」が788件（63.8%）で最も多くなりました。なお、「コスト削減に役立ったものはない」との回答は375件でした。

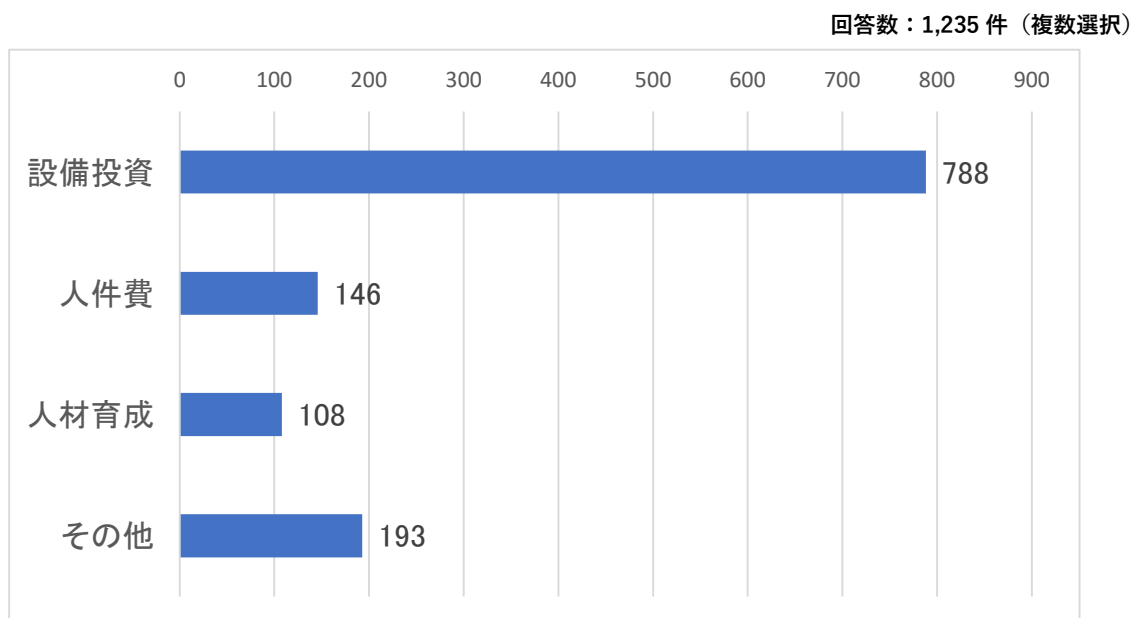


図9 コスト削減に役立った項目

コスト削減への寄与に関する具体的な内容で代表的なもの（抜粋・要約）は、表5のとおりです。

表5 コスト削減への寄与に関する具体的な内容（抜粋・要約）

- ・時間がかかる評価試験を短縮することが出来た。
- ・民間の検査器具レンタルに比べて格安であった
- ・試験機を借りることができるので、自社内で試験機が無くても試験ができる
- ・材質の見直し等によるコスト削減
- ・製造工程の改善
- ・製品の不良率低減
- ・若手社員に試験設備等の使用方法を伝授できた
- ・不具合の原因が特定できたので、追加検査の必要がなくなった。
- ・民間メーカーに試験委託すると高額になるが、試験費用を抑えられた。
- ・設備の購入費用、維持費用などのコスト面でメリットがありました。

4-2 売上増加への寄与

大阪技術研のご利用による売上増加の要因についてお伺いしたところ、1,391名から1,493件の回答がありました。そのうち、売上増加の要因の項目を選択された回答は969件で、その内訳は、図10のとおりでした。「製品の品質又は性能向上」が566件（58.4%）と最も多くなりました。なお、「売上増加に役立ったものはない」との回答は524件でした。

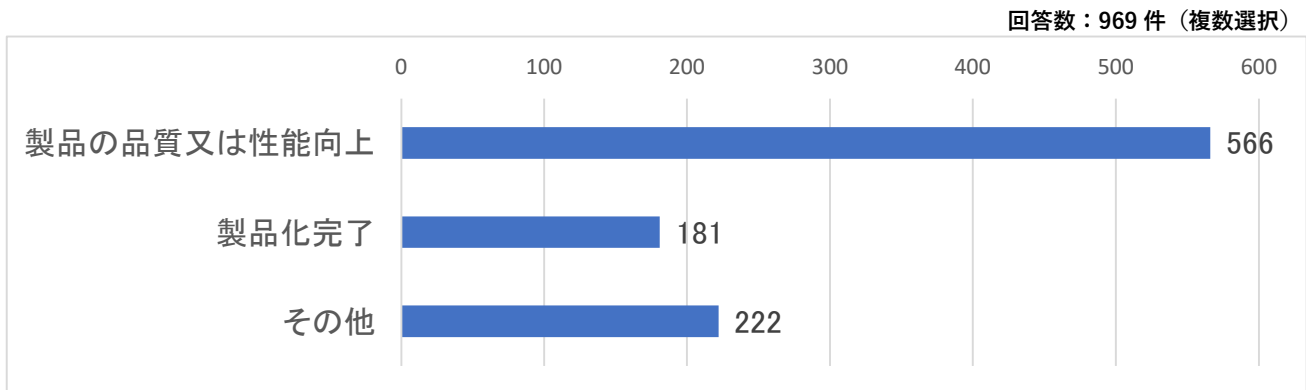


図10 売り上げ増加の要因

売上増加への寄与に関する具体的な内容で代表的なもの（抜粋・要約）は、表6のとおりです。

表6 売上増加への寄与に関する具体的な内容（抜粋・要約）

- ・品質評価、管理体制に寄与している。
- ・顧客のニーズにこたえることができた。
- ・製品保証が出来て、受注が決まった。
- ・新規格への対応が確認でき、量産製品の維持ができた
- ・安心を得ることに繋がり、リピートの注文をもらえた
- ・資材に問題がないことが確認できた。
- ・熱処理ひずみが低減でき研削での取得率が向上した。結果、利益アップに繋がった。
- ・製品エビデンスの強化による販売増加
- ・顧客要求事項に対応ができ、製品受注ができたこと

4-3 製品開発または製品改良への寄与

大阪技術研をご利用されたことで、製品開発または製品改良に結びついたかお伺いしたところ、1,368名から回答がありました。

その内訳は図11のとおりでした。

いずれの利用回数においても「製品化の途上である」が最も多く、全体では772件でした。回答は利用回数によって大きな違いはありませんでしたが、「製品化のめどがついたものはない」の割合は、利用回数が増えるほど小さくなる傾向にありました。

回答数：1,368件

※グラフ中の数値は回答数

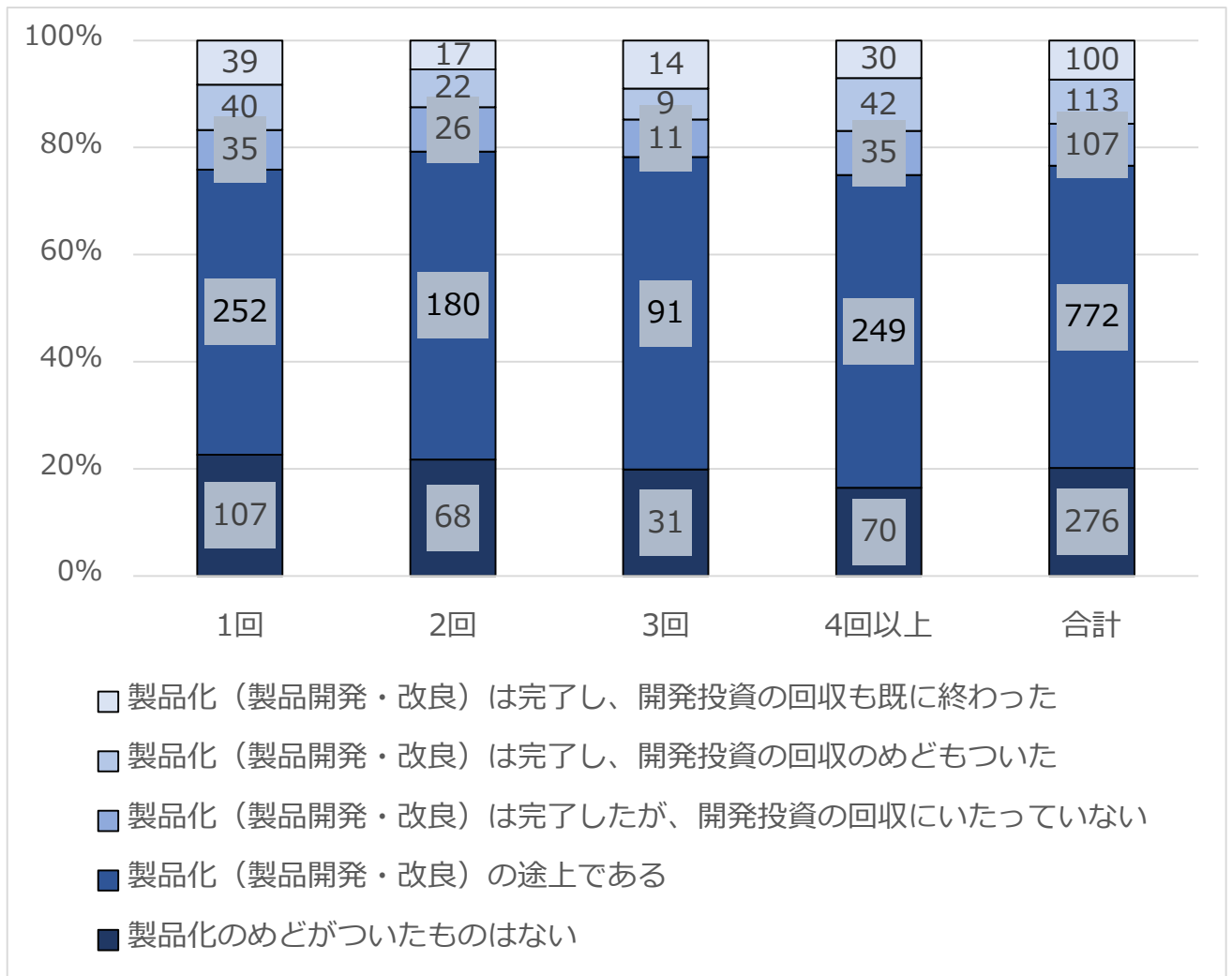


図11 製品開発または製品改良への寄与

4-4 大阪技術研の利用によるメリットの金額換算

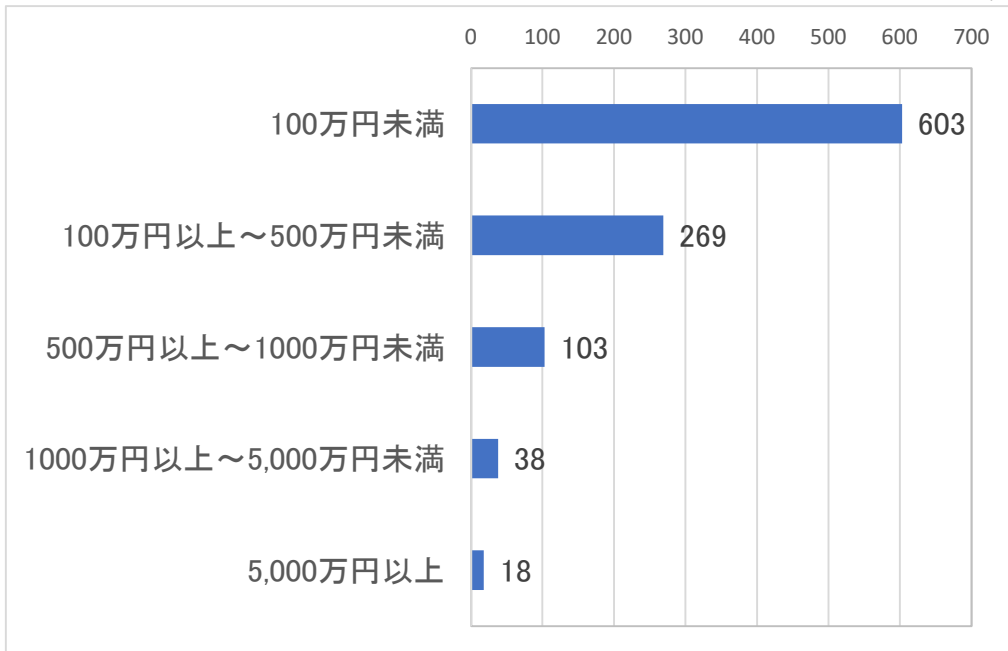
大阪技術研の利用により売上げ増加やコスト削減等に役立ったメリットを、表7に例示した内容で金額に換算して回答いただいたところ、1,031名から回答がありました。また利用回数4回以上の回答者では、307名から回答がありました。(図12)

表7 大阪技術研の利用によるメリットの例示

-
- ・自社で試験を実施する場合に比べて設備投資費や人件費を〇〇万円削減することが出来た。
 - ・製造工程の合理化や、不良率の低減、故障の原因究明、クレーム対策等の課題が解決でき、〇〇万円のコスト削減につながった。
 - ・製品の性能向上や製品開発が完了したため、〇〇万円の売上げ増加やライセンス収入が見込める。
 - ・製品の品質管理を行うとともに、試験結果を宣伝することにより〇〇万円売上げが増加した。
 - ・セミナーや講習会への参加、研修等の利用などにより自社の人材育成に関する経費を〇〇万円削減することができた。
-

回答者全体

回答数：1,031 件



利用回数 4 回以上

回答数：307 件

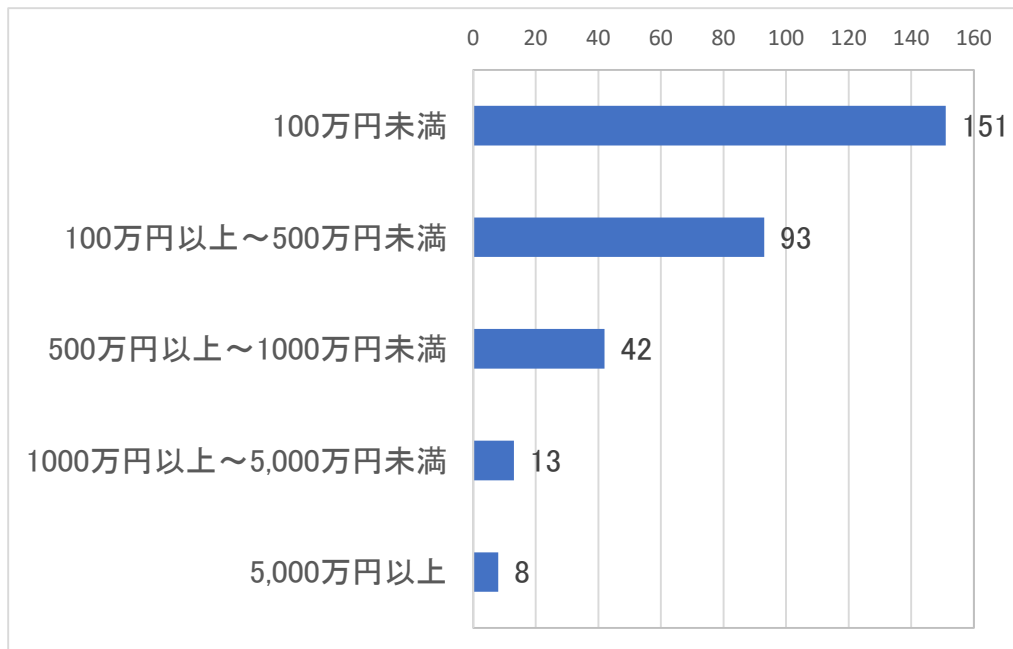


図 12 大阪技術研の利用によるメリットの金額換算

5. 「2025 年大阪・関西万博」の出展について

「2025 年大阪・関西万博」の大阪ヘルスケアパビリオン内「リボンチャレンジ」ゾーンにおいて、『少し先の未来生活を支える「縁の下 (E・N・NO・SHI・TA)」ものづくり企業たち』というテーマにて出展いたしました。大阪技術研の利用者の方のうち、どれだけの方が万博での展示をご存じであったか、ご見学頂いたか、また、リボンステージにて開催した「わくわく！科学縁日」の感想をお尋ねいたしました。

1,433 名から回答がありました。その内訳は図 13 のとおりです。出展を知っていた方は 244 名 (17%)、見学をされた方は 53 名 (4%) でした。

回答数：1,433 件

※グラフ中の数値は回答数および割合

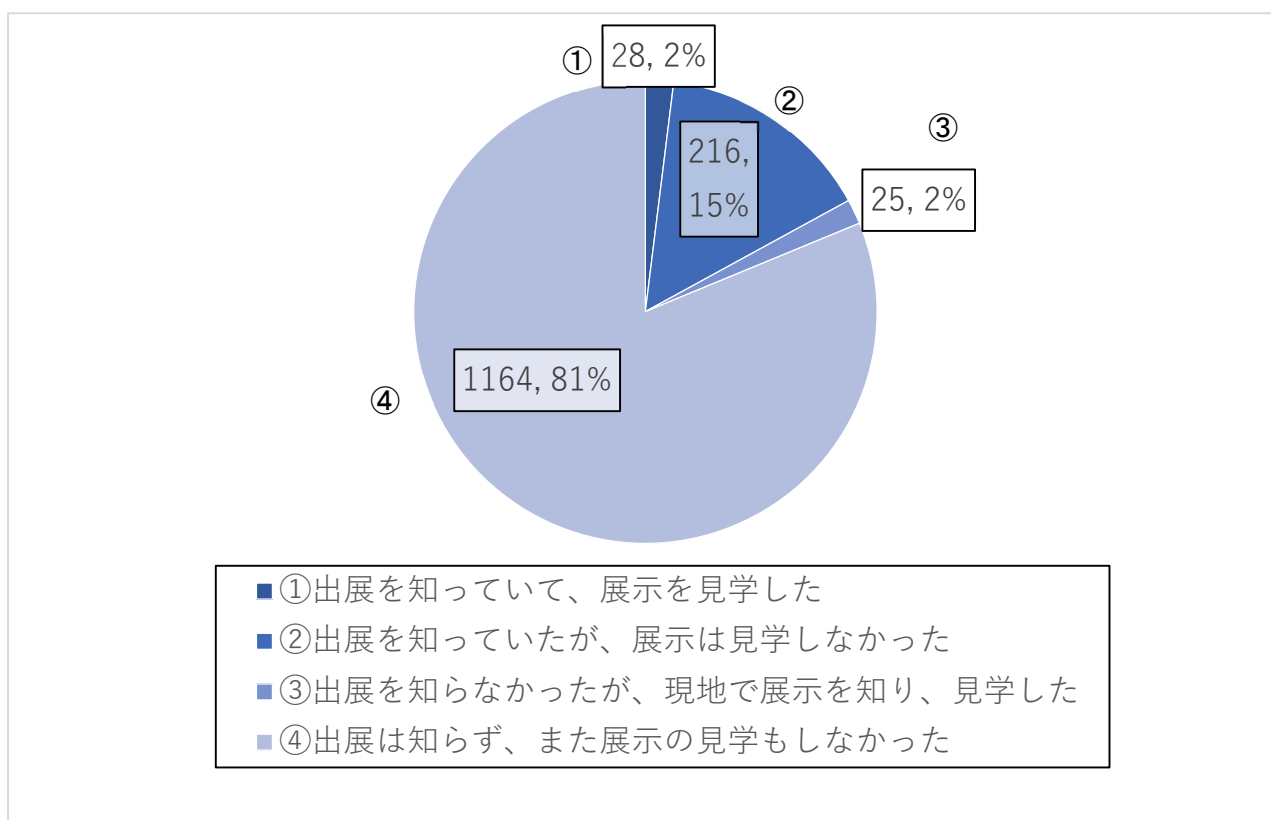


図 13 大阪技術研の「2025 年大阪・関西万博」への出展についての回答

「2025 年大阪・関西万博」の出展に関する感想は、表 8 のとおりです。

表 8 「2025 年大阪・関西万博」の出展に関する感想（抜粋・要約）

- ・ 3D プリンターで作成したスタンプが印象的でした。金属材料の研究を知る機会となったのでよかったです。一般の方々にもわかりやすかったと思う。
- ・ 弊社も大阪ヘルスケアパビリオンに出展していたので、展示を見に行ったときに他の会社の展示も見学した。
- ・ 研究機関が積極的に研究内容を開示説明することに賛成
- ・ リボンチャレンジゾーンに行ったが、混んでいた事もあり、どこで何をされていたのかわからなかった。

-
- ・ 出展を把握していたら、見学してみたかった。
 - ・ 申し訳ございませんがその期間は万博に行けませんでした。
-

また、8月29日(金)に、リボーンステージにて「わくわく！科学縁日」を開催しました。「わくわく！科学縁日」に参加された方に感想を尋ねました。6名の方から回答がありましたが、ほとんどの方は、参加できなかったとの回答でした。回答のあった方の主な感想は、表9のとおりです。

表9 「わくわく！科学縁日」に関する感想（抜粋・要約）

-
- ・ もう少し、専門的な質疑応答にも対応いただけるとありがたいです。
 - ・ 開催されていることを知らなかった。
 - ・ 参加しておらず、申し訳ありません。
-

6. 大阪技術研へのご意見・ご要望

大阪技術研へのご意見、ご要望を記述式でお伺いしたところ、209名から回答がありました。回答内容を分類すると、図14のとおりでした。具体的なお意見・ご要望は表10のとおりです。アンケートの回答者より頂きましたご意見、ご要望は弊所内で共有し、今後の大阪技術研の運営の改善の指針とさせていただきます。

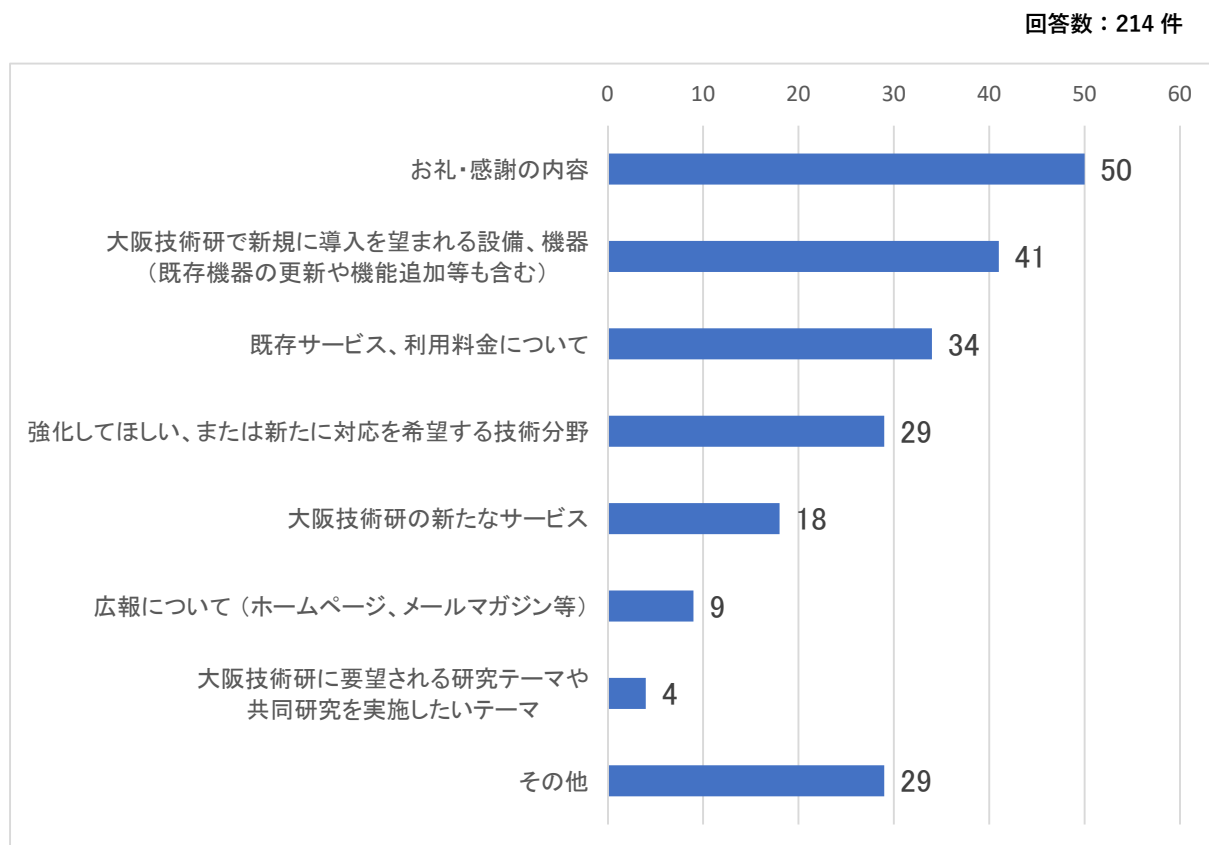


図14 大阪技術研へのご意見・ご要望について

表 10 大阪技術研へのご意見・ご要望（抜粋、要約）

【お礼・感謝の内容】

- ・どのような内容でも相談に乗っていただけると大変感謝しています。
- ・膨大な設備投資なしで 機器の補修ができた。
- ・クレーム対応に迅速にご協力していただき非常に感謝しております。
- ・他の公設試よりも研究のレベルが高く、相談に丁寧に対応していただける印象がある。
- ・少量の成型加工を行うのに、ちょうどよい設備である。外部に依頼すると時間とコストがかかるが、ここでは手早く、安くできる。

【大阪技術研で新規に導入を望まれる設備、機器（既存機器の更新や機能追加等も含む）】

- ・3D プリンタの高度化（金属 3D プリンタのラインナップ拡充）、造形物の非破壊検査（産業用 CT）の解像度アップ、環境試験装置（大型製品にも対応できる恒温恒湿槽の増設や、より過酷な振動・衝撃試験が可能な装置への更新）

以下、機器名のみ

- ・FT/IR とその周辺機器の更新
- ・加熱発生ガス質量分析（TPD-MS）の装置
- ・GD-OES
- ・最新の電子顕微鏡及び周辺機器
- ・より高周波側の誘電率測定装置
- ・一軸伸長粘度測定装置
- ・大型構造物複合加力試験装置
- ・疲労試験機
- ・広域イオンミリング、EB 描画装置、現像装置

【既存サービス、利用料金について】

- ・装置が空いていても、担当職員が繁忙のため、レンタル使用するまで日数がかかり、計画を立てにくかった。
- ・機器利用の際にマニュアル（手順書）があれば助かる
- ・半日単位ではなく 1 時間単位であれば、より機動的な利用が可能になる。
- ・依頼分析において、試料の輸送費は受託費に含めてほしい。着払いは手続き上困る。
- ・対応範囲でない場合の他の機関の紹介や相談に乗ってほしかった
- ・EMC の予約が取りにくいので、設備を増やしていただけるとありがたいです。

【強化してほしい、または新たに対応を希望する技術分野】

- ・中小企業向けの AI 開発・活用のサービス
- ・次世代モビリティ（EV 化に伴う部品の軽量化技術、車載電池の安全性評価試験）
- ・半導体・電子部品
- ・二次電池向け材料開発
- ・インフラの維持管理
- ・樹脂材料および樹脂成形について
- ・金属の変色・腐食、主に錫メッキ

【大阪技術研の新たなサービス】

- ・オンライン・リモート対応（依頼試験の進捗状況を Web で確認できるマイページ機能や、技術相談の完全オンライン化（Zoom 等）の常設）
- ・人材育成支援（若手エンジニア向けの実習型セミナーの開催）
- ・WEB 予約の拡充と利便性の向上
- ・国際規格（IEC）などの規格の読み解きや、認識に関する相談などのサービス

-
- ・試験片の製作代行
 - ・分析方法が多岐に渡る場合は、コーディネーターが必要

【広報について（ホームページ、メールマガジン等）】

- ・依頼したい分析の担当者が交代わりであり、どなたが担当であるかわからないので、ホームページなどで担当者や空いている時間などを見ることができたら良い。
- ・ホームページに催事が掲載されているが、3カ月ごとに予定が決まるようであれば、案内を頂けたら、内容を確認して参加を検討できる。
- ・初めて利用する人にもわかりやすいホームページにしてもらえると、依頼の際のハードルが低くなる。
- ・新規導入機器や技術の紹介などを定期的に行ってほしい。

【大阪技術研に要望される研究テーマや共同研究を実施したいテーマ】

- ・脱炭素・カーボンニュートラル対応：（製造工程におけるCO₂排出量算定の自動化システム開発、バイオプラスチックの成形加工技術）
- ・高硬度セラミックの圧縮成型用金型の超寿命目的での耐摩耗性・潤滑性改良研究
- ・銅パイプとアルミパイプのロウ付け
- ・新規光学材料の開発

【その他】

- ・受託研究員のデスク。荷物スペースの提供、拡充を希望。
 - ・和泉センター：食堂があると嬉しい
 - ・電話の対応の改善を希望する。
 - ・技術員の方のサポートを強化してほしい。
 - ・大阪在住企業との開発のハブ
 - ・今後も研究課題にご支援を頂きたいと思います。
-

まとめ

■ 利用目的と満足度及び不満点

大阪技術研の利用目的については、「製品の開発、改良、評価」が1,162件（58.7%）と最も多く、次いで、「製品のクレーム対策（不良品、製造トラブルの原因究明等）」、「情報収集」の順でした。

また、利用時の満足度については、「満足」が60.8%、「おおむね満足」36.4%でこの2つを合わせると97.2%でした。

満足を感じた理由としては、「利用したい設備機器があった」が一番多く、次いで「職員の説明が適切だった」と「職員の接客態度が良かった」という順でした。

一方、「やや不満」は2.5%、「不満」があった」は0.3%でした。

不満を感じた理由としては、「利用したい設備機器がなかった」と「料金が高かった」が同数で一番多く、次いで「希望する日時に設備機器が利用できなかった」と「職員の説明が適切でなかった」という順でした。

■ 利用効果

大阪技術研の利用により、「製品化の途上である」および「製品化が完了した」の回答の割合を合わせると79.8%でした。この割合は利用回数が多くなるほど、増加しました。

【アンケートに関するお問い合わせ先】

（地独）大阪産業技術研究所 法人経営本部 企画部 広報・ITグループ
メールアドレス：survey@orist.jp

アンケート結果を踏まえて、サービス内容の改善に取り組んでまいりますので、より一層のご支援・ご利用をお願いいたします。

最後に、今回のアンケートにご協力いただきました回答企業の皆さまに厚く御礼申し上げます。